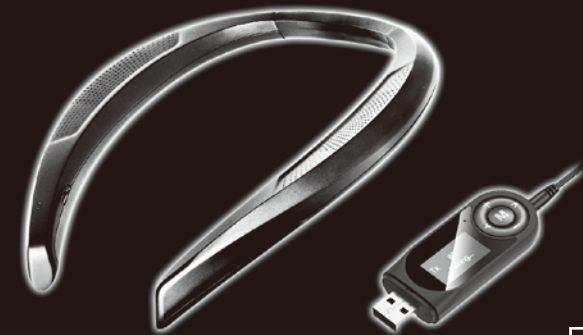


取扱説明書

もくじ

- 様々な楽しみ方 …… P.2
- 安全にお使いいただくために… P.3
- 各部名称・セット内容 …… P.4
- 充電方法 …… P.5
- 使用方法 ①
スピーカーの使用方法 …… P.6
- 使用方法 ②
Bluetooth 送信機を使用する方法… P.7~8
- 使用方法 ③ 音量・通話について … P.8
- 故障かな?と思ったら …… P.9
- テクニカルデータ …… P.10
- 保証書 …… P.11

LITHON



日本国内専用

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,INC.が所有する登録商標であり、ライソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

検索デバイス名

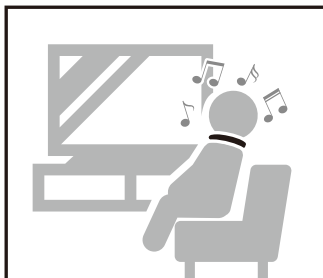
A-S SP-22 もしくは **LITHON SP-36**

※上記のいずれかがデバイス名になります。スピーカー本体の底面に表記されている「 (技適マーク)」のすぐ下にある「Model No.」をご確認ください。

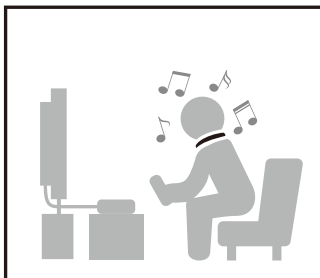
※本機はBluetooth®対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。機器によっては使用できない場合もございます。ご了承ください。

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

様々な楽しみ方



映画鑑賞を臨場感のある
サウンドで楽しむ



ゲームを臨場感のある
サウンドで楽しむ



家事をしながら
音楽・通話を楽しむ



子供の様子を把握しながら
音楽・通話を楽しむ

首にかけるスピーカーが、耳元をサウンドで包みこむ

ヘッドホンとは違い、周囲を把握しながら音楽やテレビの音声を楽しめます。耳元が音で包まれ、音を着る感覚になります。

快適な装着感

背中側の首もと・肩・鎖骨のラインに沿ったアーチ状の形になっています。背中側の首もとに接する部分は柔軟に曲がって首にかけやすく、約85gの軽さで長時間でも疲れることなく装着し続けます。

Bluetooth送受信機 付属

Bluetooth機能のないテレビにも付属の『Bluetooth送受信機』を取り付けて、電源を入れた本スピーカーを近付けると、自動で接続されます。最大約10m離れたところまでテレビの音声を飛ばすことができます。

使用環境に複数のBluetooth機器があって自動でつながらない場合は、『Bluetooth送受信機』の液晶ディスプレイで接続先を確認・選択して接続できます。

安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください。

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

警告

下記事項を守らなかった場合、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

- 煙が出たり、異臭、異音が出たら、すぐに使用を中止し、電源を切ってください。
- 分解や改造をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- 水のかかる場所や、ぬれた手で充電しないでください。感電や故障の原因になります。
- 落雷のおそれがある時は、USB充電ケーブルをパソコンなどから抜いてください。
- 心臓ペースメーカーや医療機器などの近くでは、医師に相談の上で使用してください。

注意

下記事項を守らなかった場合、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

- 本機を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 使用温度範囲を超える場所や多湿・直射日光のあたる場所での使用・保管はしないでください。製品の劣化・故障の原因になります。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 医療機器や人命に直接的または間接的にかかわるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 飛行機の中では使用しないでください。通信システムを妨害する恐れがあります。
- 使用しない時は本製品の電源をお切りください。
- 本機は防水加工は施されておりません。水気のある場所での使用・保管はしないでください。
- 内蔵バッテリーは繰り返しの充放電により消耗します。交換はできません。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書の指示に従ってください。本製品は、スマートフォンなどと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。
- 充電中は本製品の周囲に物を置かないでください。
- 布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱によって変形し、火災の原因になることがあります。
- 子供や乳幼児の手の届く場所での保管・使用はお避けください。

Bluetoothについて

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けているので、無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - ◎本機を分解・改造すること
 - ◎本機に貼ってある(プリントされている)証明ラベル(マーク)をはがす(削り取る)こと
- 本機は2.4GHz帯域の電波を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意して使用してください。

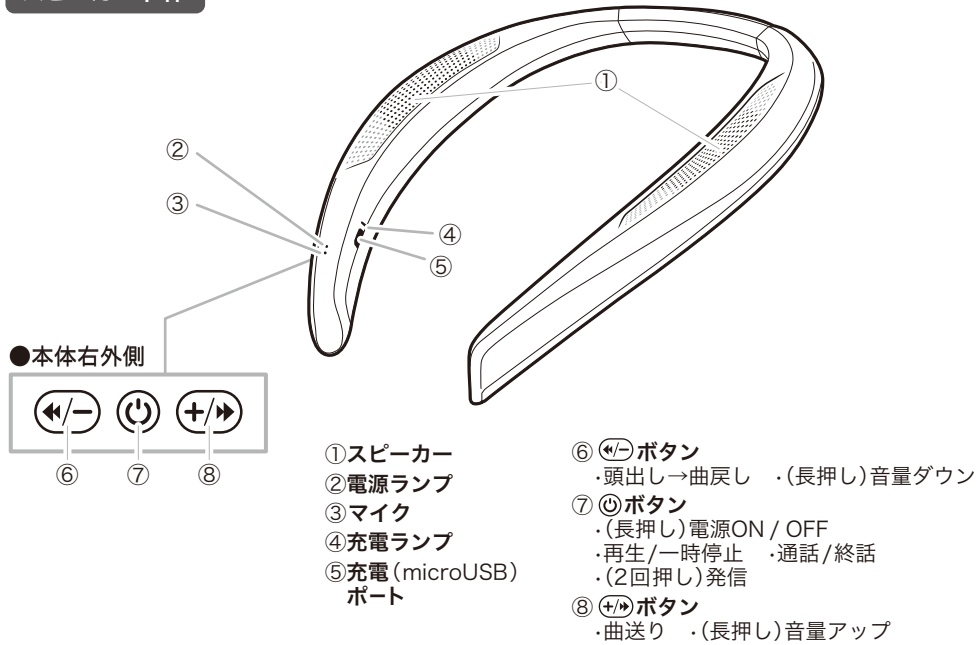
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

- ①本機を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
- ②万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

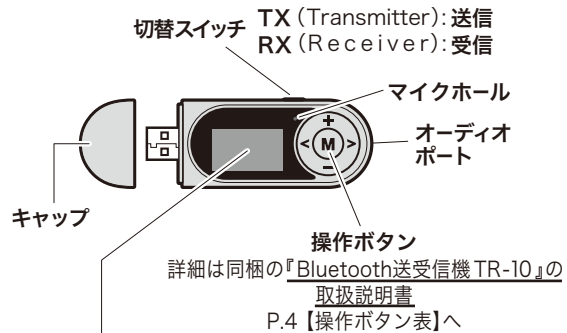
- 本機の通信距離は最大約10mですが、磁場や静電気・電波障害が発生する場所や、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せずに接続が途切れたりすることがあります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作しない時があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する時があります。
- 日本国外では使用できません。各国の電波法に抵触する可能性があります。

各部名称・セット内容

スピーカー本体



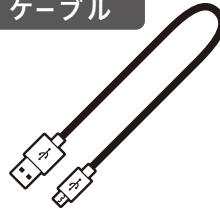
Bluetooth 送受信機



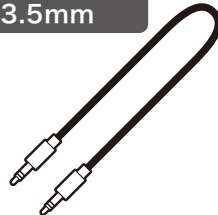
液晶ディスプレイ

詳細は同梱の『Bluetooth送受信機 TR-10』の取扱説明書 P.8【使用方法②送信～液晶ディスプレイ～】、P.10【使用方法③受信～液晶ディスプレイ～】へ

USB充電ケーブル



オーディオケーブル φ 3.5mm



充電方法

充電中の使用について

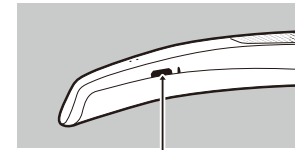
❗ **スピーカー本体(以下本機)を充電しながら使用しないでください。**
電池の劣化を促進させたり、電池破損の原因になります。

注意

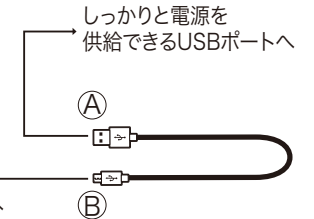
・充電には付属のUSB充電ケーブル以外を使用しないでください。
・初めて本機を使用するときは、完全に充電をおこなってください。
・USBハブを使用して充電をおこなった場合は、正常に充電されないことがあります。
必ずお手持ちのUSB-ACアダプターや通電したパソコン本体のUSBポートなど、しっかりと電源を供給できる環境で充電をおこなってください。

(1)お手持ちのUSB-ACアダプターや、通電したパソコン本機のUSBポートに付属のUSB充電ケーブル(A)を接続し、もう片方(B)を本機の充電(microUSB)ポートに差し込みます。充電ランプが赤く点灯し、充電が開始されます。

●本体右内側



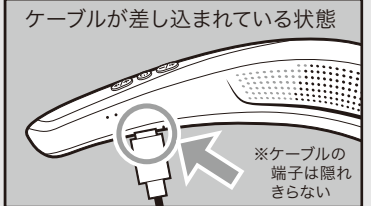
充電(microUSB)ポートへ



充電(microUSB)ポートへの差し込みについて

❗

本機にUSB充電ケーブルが奥まで差し込まれている状態は、右図のようにケーブル側の端子が見えている状態になります。必要以上に押し込むと本体破損の原因になりますので、充電ランプが赤く点灯したらそれ以上押し込まないでください。



(2)充電が完了すると消灯します。

❗

電池残量が空の時に充電すると、完了するまで約1.5時間かかります。充電ランプが消灯したら、USB充電ケーブルを取り外してください。

❗

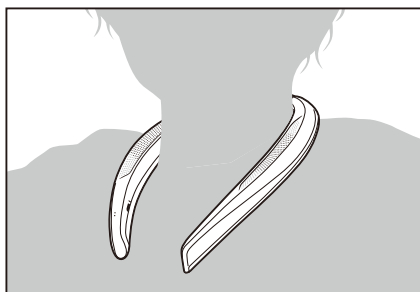
使用中、電池残量が少なくなると周期的に音が途切れて知らせる音が鳴りますので、充電してください。

使用方法① スピーカーの使用法

スピーカーの装着の仕方

背中側の首もと・肩・鎖骨のラインに沿うようにスピーカーを肩にかけます。

この時、右手側に操作するボタンがきます。



基本操作

- 電源ON 本体の電源をONにすると音が流れ、電源ランプが青く点滅し始めます。
- 電源OFF 本体の電源をOFFにすると音が流れ、電源ランプが消灯します。

本スピーカーとBluetooth対応機器のペアリングの方法

本スピーカーをスマートフォンなどのBluetooth対応機器とつなげて使用するには、それらの機器とペアリング(初期登録する作業)をおこなう必要があります。

(1)電源をON

電源を入れて、音が鳴った後スタンバイ状態になり、ペアリングできる状態になります。(この時、電源ランプが青く点滅します。)

(2)お手持ちの機器とペアリング

スマートフォンなどペアリングしたい機器から本スピーカーを検索します。検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などをお読みください。

(3)デバイス名「A-S SP-22」もしくは「LITHON SP-36」のいずれかを選択して登録

ペアリングしたい機器から本機が見つかったら、デバイス名「A-S SP-22」もしくは「LITHON SP-36」が検索画面上に表示されるので、選択して登録します。ペアリングが成功すると音が鳴ります。

これで登録は完了です。(この時、電源ランプが青の点滅から青の点灯に変わります。)

※デバイス名はスピーカー本体の底面に表記されている「 (技適マーク)」のすぐ下の「Model No.」をご確認ください。

機器によってはペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をおこなってください。

1度ペアリングをすると、以降は自動的に接続されます。

※ご使用の機器や設定によっては自動的に接続されない場合もあります。

音楽再生

ペアリングした機器を操作、もしくは本体の ボタンを押して、音楽を再生するとスピーカーから音が流れます。

ボタンで曲送り、 ボタンで頭出し/曲戻しができます。

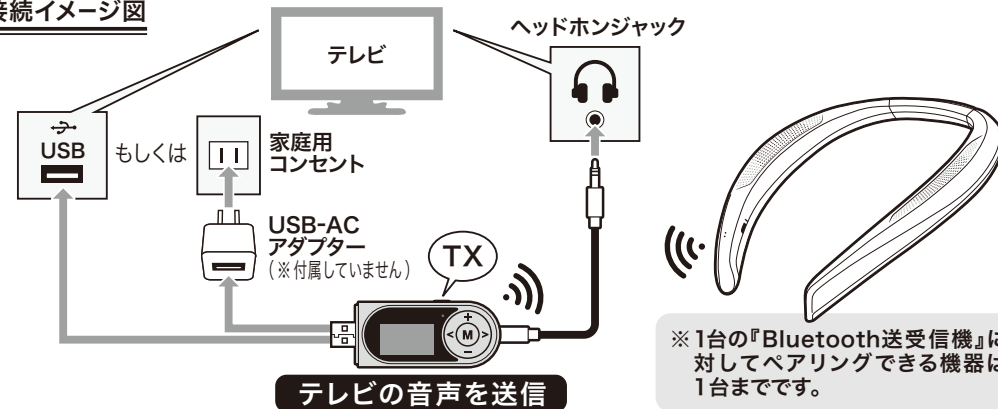
※ペアリングする機器によって、曲送り(頭出し/曲戻し)できないものもあります。ご了承ください。

使用方法② Bluetooth送受信機を使用してテレビの音声を送信

テレビと接続して音声を送信する方法

Bluetooth送受信機を使用して、Bluetooth非対応のテレビ等の音声を、本スピーカーに飛ばすことができます。

接続イメージ図



(1)オーディオケーブルを接続

Bluetooth送受信機の切替スイッチを「TX」に合わせ、オーディオポートに付属のオーディオケーブルを接続し、もう片側をテレビのヘッドホンジャックに接続します。

(2)Bluetooth送受信機の電源ON

Bluetooth送受信機のキャップを外し、電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を取ります。

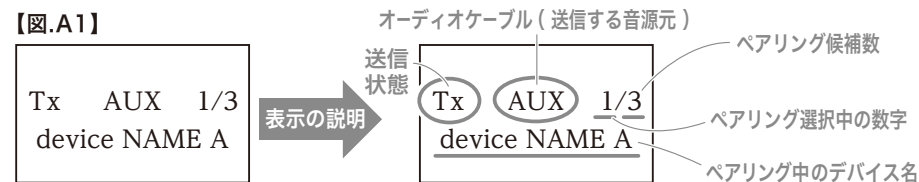
※テレビ等の接続する側に電源を供給するUSBポートがない場合は、お手持ちのUSB-ACアダプターを差し込んだ家庭用コンセントから電源を取ってください。

※テレビのUSBポートから電源をとった際、音声中にノイズが入る場合はお手持ちのUSB-ACアダプターから電源を取ってください。

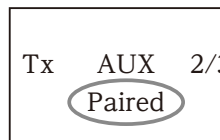
(3)本スピーカーとBluetooth送受信機をペアリング

本スピーカーの電源を入れ、Bluetooth送受信機に近付けてペアリングさせます。ペアリングすると液晶ディスプレイに接続先の「デバイス名」が表記され【図.A1】、音声が流れ出します。

【図.A1】



※ペアリング中のデバイス名に英数字以外の文字が含まれている場合、「Paired」と表示されます。【図.A2】



【図.A2】

※ペアリングさせる際、間に他のBluetooth機器があると、他の機器とペアリングする可能性があります。その際は、つなげたいデバイス名を選択してペアリングしてください。

使用方法② Bluetooth送受信機を使用してテレビの音声を送信（つづき）

テレビと接続して音声を送信する方法（つづき）

(4)ペアリングされているデバイスを変更

ペアリング候補が上がっているデバイスを選択し直したい時は、Bluetooth送受信機の操作ボタン「>」もしくは「<」を長押しすると「Choice」と表記されるので、「>」もしくは「<」でペアリングしたいデバイス名を選択し、「M」ボタンを押して決定してください。【右図】
選択肢に表示されない場合は、「M」を2回押しして、デバイスを再検索してください。

Tx **Choice** 3/3
NAME B device



※マルチペアリング不可

1台のBluetooth送受信機に対してペアリングできる機器は1台までです。

テレビ音声の送信について ～スピーカー・テレビ両方から音声を出す方法～

テレビの音声をBluetooth送受信機から送信する際、テレビ本体とスピーカー両方から音声を出したい場合は、テレビ側の設定で変更してください。

変更方法は使用しているテレビによって異なりますので、テレビ側の取扱説明書をお読みください。



※ヘッドホンジャックに接続した機器と、テレビ両方から音声同時出力ができるテレビに限ります。

使用方法③ 音量・通話について

音量について

- 本機のスピーカーの音量が最大に達すると、知らせる音が鳴ってそれ以上音量は上がりません。音量が最小に達すると消音になります。

※接続している機器自体の音量調節は、接続している機器側で直接おこなってください。



※最初から大きな音に設定しないでください。耳を痛める恐れがあります。

通話について

本機を使ってハンズフリーで通話することができます。
(あらかじめ本機とご使用の電話をペアリングしてください)

<着信の場合> 着信があった場合、着信音が流れます。本機の④ボタンを押すと電話にでることができます。もう一度押すと通話を切ります。

<発信の場合> 本機の④ボタンを2回連続して押すと、直前に発信または着信した相手に電話をかけることができます。



- 通話機能が使えるのはBluetooth接続時に限ります。
- 通話をする際、双方ともBluetooth機器で通話をするると雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。
- ご使用の機器によっては、本機の操作での発信・着信した電話に出ることができない場合があります。その場合は、ペアリングした機器を操作してください。また、アプリを利用した通話はできない場合があります。

故障かな?と思ったら

●動画の音声が遅れて聞こえる

・Bluetoothの特性上、動画に対して音声が多少遅れて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

●Bluetooth送受信機で接続すると音量が小さくなる

・接続機器の音量を確認してください。使用環境によっては音量が小さく出力される場合があります。

●スピーカーの電源が入らない

・スピーカーが充電されているかどうか、確認してください。

●ペアリングができない

・接続先のBluetooth機能がペアリング可能な状態であることを確認してください。一般にスマートフォンやパソコンなど接続する側の設定で、機能を有効にする必要があります。接続する機器の設定を確認してください。
・別の機器とペアリングされている可能性があります。接続を解除してからお試しください。
・約2分30秒待ってもつながらない場合は、Bluetooth送受信機を電源から抜き、スピーカー本体の電源を切って、もう一度ペアリングし直してください。

●他の機器との利用後、ペアリングが必要になった

・ご使用のスマートフォンやパソコン等とのペアリング後、他の機器と接続する場合に再度ペアリングが必要になることがあります。

●接続後に本機がきちんと動作しない

・本スピーカーおよび接続したスマートフォンやパソコン等の機器が、該当するBluetooth機能を搭載しているか確認してください。(Bluetoothのバージョンや対応しているプロファイルなど)

●電源を入れたのに自動的に再接続されない

・ご使用の機器によっては、ペアリングが完了後、「接続」が必要となる場合があります。詳しくはご使用の機器の取扱説明書をご参照ください。

●いつも再接続していたのに突然再接続されなくなった

・スマートフォンやパソコン等の接続する機器によっては繰り返し再接続している間に、登録情報が失われ、自動で再接続できなくなることがあります。本機および接続機器の電源を入れ直すか、再度ペアリングをおこなってください。

●ノイズやエコー音が入る

・ペアリングの機器との距離を変えてみてください。

●スマートフォン等で動画音声が聴こえない

・スマートフォン等の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオなどの音声はBluetoothでは視聴できません。また、デジタル著作権保護のため、本機では再生できない場合があります。

●BluetoothキーボードやBluetoothマウスなど、他のBluetooth機器を使用すると本機からの音声が途切れる

・Bluetooth機器の混信、ノイズにより稀に音声が途切れる場合があります。

●連続再生時間が短くなった

・バッテリーは消耗品です。使用とともに徐々に劣化していきます。

Bluetooth	
バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.5.0 or Ver.5.1、class2
検索デバイス名	『A-S SP-22』 or 『LITHON SP-36』
伝送距離	最大約10m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.402GHz~2.480GHz)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP
対応コーデック	SBC
スピーカー	
型式	2chスピーカー 密閉型
スピーカー口径	36×19mm(楕円形)×2
再生周波数	150Hz~20,000Hz
最大出力	3W×2
インピーダンス	8Ω
その他	
電源	DC 3.7V 内蔵リチウムイオン充電電池 500mAh
充電時間	約1.5時間 ※充電機器により異なることがあります
連続再生時間	約10時間 ※使用状況・環境条件により異なることがあります
使用温度範囲	5~35℃
外形寸法	約 W190×D180×H30mm
質量	約 85g
Bluetooth	
バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.5.1、class2
検索デバイス名	LITHON TR-10
伝送距離	最大約10m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.402GHz~2.480GHz)
対応プロファイル	送信時(TX): A2DP 受信時(RX): A2DP、AVRCP、HFP
同時接続台数	1台
その他	
電源	USB電源
接続	3.5mmイヤホンジャック入力
対応フォーマット	mp3
対応メディア	microSDカード・microSDHCカード(~32GB)
外形寸法	約 W82×D13.5×H29.5mm
質量	約 20g

※通信距離は、間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって、通信距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

※全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。ご使用の機器によっては接続できない場合があります。予めご了承ください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。



製品を廃棄するときはバッテリーのリサイクルにご協力ください。本製品の本体には『リチウムイオンバッテリー』が使用されています。資源を有効活用するため、廃棄するときは各地方自治体の廃棄物処理の指示に従って処理してください。

保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

製品コード	KABWS-010	製品名	テレビ用 首掛けスピーカー
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：半年間
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
※販売店	住所・店名		
	電話番号		

店舗印

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ ※印欄は必ず記入(もしくは押印)してください。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外になります。
 - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
 - お客様の過失・不注意(使用上の誤り、製品をぶつけたり落下等による強い衝撃を与えるなど)による故障及び損傷
 - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合
 - 火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
 - 本書の掲示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 他人へ譲渡した場合
 - 正規販売ルート以外で購入した場合
- レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

発売元 **ライオン株式会社** 〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

お客様サービスセンター

TEL 06-6789-1199
[月~金(祝日除く)10時~16時]

WEBからの修理・交換のお問い合わせはこちら



取扱説明書

もくじ

- 安全にお使いいただくために…P.2～3
- セット内容・各部名称 ……P.4
- 操作ボタン表 ……P.4
- 使用方法①基本操作 ……P.5
- 使用方法②送信 ……P.6～9
- 使用方法③受信 ……P.10～12
- 使用方法④その他 ……P.12
- 故障かな?と思ったら…P.13
- テクニカルデータ ……P.14

LITHON



Bluetooth®

日本国内専用

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,INC.が所有する登録商標であり、ライソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

検索デバイス名

LITHON TR-10

※本機はBluetooth®対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。機器によっては使用できない場合もございます。ご了承ください。

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

(2024年11月 改訂)

安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください。

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

警告

下記事項を守らなかった場合、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

- 煙が出たり、異臭、異音が生じたら、すぐに使用を中止し、電源を切ってください。
- 分解や改造をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- 水のかかる場所や、ぬれた手で充電しないでください。感電や故障の原因になります。
- 心臓ペースメーカーや医療機器などの近くでは、医師に相談の上で使用してください。

注意

下記事項を守らなかった場合、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

- 本機を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 高温・多湿・直射日光のあたる場所での使用・保管はしないでください。製品の劣化・故障の原因になります。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 医療機器や人命に直接的または間接的にかかわるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 飛行機の中では使用しないでください。通信システムを妨害する恐れがあります。
- 使用しない時は本製品の電源をお切りください。
- 本機は防水加工は施されておりません。水気のある場所での使用・保管はしないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書の指示に従ってください。本製品は、スマートフォンなどと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。
- 布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱によって変形し、火災の原因になることがあります。
- 子どもや乳幼児の手の届く場所での保管・使用はお避けください。

Bluetoothについて

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けているので、無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本機を分解・改造すること
 - 本機に貼ってある(プリントされている)証明ラベル(マーク)をはがす(削り取る)こと
- 本機は2.4GHz帯域の電波を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意して使用してください。

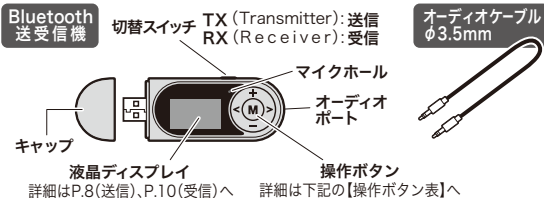
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

- ① 本機を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

- 本機の通信距離は最大約10mですが、磁場や静電気・電波障害が発生する場所や、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せずに接続が途切れたりすることがあります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作しない時があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する時があります。
- 日本国外では使用できません。各国の電波法に抵触する可能性があります。

※誤った使用方法で発生するすべての事柄に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

セット内容・各部名称



操作ボタン表

全モード 共通	TX (送信) / RX (受信) 共通	音量アップ	「+」ボタンを1回押し もしくは長押し※1
		音量ダウン	「-」ボタンを1回押し もしくは長押し
	TX (送信) のみ	Bluetoothデバイス検索	「M」ボタンを2回押し
		その他ペアリング候補の Bluetoothデバイス表示	「>」または「<」長押し→ 「>」「<」1回押しで選択 →「M」1回押しで確定
BTモード (Bluetooth)	RX (受信) のみ	再生 / 一時停止※2	「M」ボタンを1回押し
		スキップ※2	「>」ボタンを1回押し
		バック※2	「<」ボタンを1回押し
		発信※2	「M」ボタンを2回押し
		受話/終話※2	「M」ボタンを1回押し
		通話拒否※2	「M」ボタンを長押し
PCモード (パソコン)	TX (送信) のみ	再生 / 一時停止	「M」ボタンを1回押し
	RX (受信) のみ	ミュート	「M」ボタンを1回押し
TFモード (microSD)	TX (送信) / RX (受信) 共通	再生 / 一時停止	「M」ボタンを1回押し
		スキップ	「>」ボタンを1回押し
		バック	「<」ボタンを1回押し
AUXモード (オーディオ)	TX (送信) のみ	ミュート	「M」ボタンを1回押し

※1 PCモード以外で最大音量になった時、「ポロロン」とアラートが鳴ります。
PCモードではアラートはなりません。

※2 スマートフォンに接続中のみ操作可能。

使用方法① 基本操作

基本操作

■電源ON … 本機のUSB端子を、電源のとれるUSBポートに差し込むと、液晶ディスプレイに「Welcome」と表示されて電源が入ります。

■電源OFF … 電源のとれるUSBポートから本機を抜くと電源が切れます。



※付属のオーディオケーブルを使用し音源をとる際、音源元と同じ機器のUSBポートから電源を取らないでください。**雑音が入る可能性があります。**
雑音が入る例) 音を飛ばしたいテレビのUSBポートで本機の電源をとる。

■音量アップ … 本機操作ボタン「+」を一回押し、もしくは長押しして音量が上がります。

■音量ダウン … 本機操作ボタン「-」を一回押し、もしくは長押しして音量が下がります。



音量調整時の画面

■送信・受信の切り替え

切替スイッチを「TX」に合わせると「送信」、「RX」に合わせると「受信」の状態になります。

●本体天面



「RX (受信)」 ↔ 「TX (送信)」



※電源を切らずに切替スイッチをスライドさせても、送信・受信の切り替えはできません。一度本体を抜いて電源を切り、3秒経ってからモードを切替え、電源を入れ直してください。

■モード切り替え

TF (microSD) カード挿入時やオーディオケーブルで接続した機器など、複数の機器をご使用の場合、「M」ボタンを長押しするとモードを切り替えることができます。

・TX (送信) … AUX (オーディオケーブル) モード、PC (パソコン) モード、TF (microSDカード) モードの3種から選択できます。

・RX (受信) … BT (Bluetooth) モード、PC (パソコン) モード、TF (microSDカード) モードの3種から選択できます。

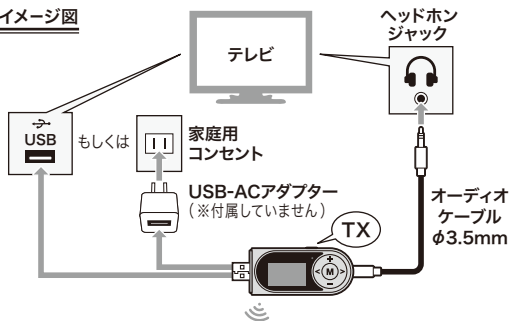


※オーディオケーブルケーブル、TF (microSD) カードが挿入されていない場合や、パソコンに差し込まれていない場合は選択することはできません。

テレビと接続して音声を送信する方法

本機を使用してBluetooth非対応のテレビ等の音声を、Bluetooth対応のスピーカーやヘッドホンに飛ばすことができます。

接続イメージ図



お手持ちのBluetooth対応のスピーカーやヘッドホン等へ
テレビの音声を送信



(1)オーディオケーブルを接続

本機の切替スイッチを「TX」に合わせ、オーディオポートに付属のオーディオケーブルを接続し、もう片側をテレビのヘッドホンジャックに接続します。

(2)Bluetooth送受信機の電源ON

本機のキャップを外し、電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を取ります。

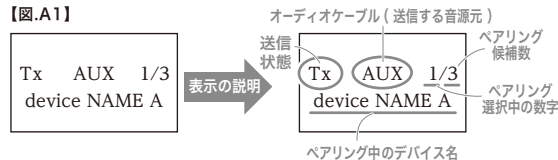
- ※テレビ等の接続する側に電源を供給するUSBポートがない場合は、お手持ちのUSB-ACアダプターを差し込んだ家庭用コンセントから電源を取ってください。
- ※テレビのUSBポートから電源をとった際、音声にノイズが入る場合はお手持ちのUSB-ACアダプターから電源を取ってください。

テレビと接続して音声を送信する方法(つづき)

(3)本機とBluetooth対応のスピーカー(ヘッドホン等)をペアリング

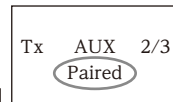
Bluetooth対応のスピーカー(ヘッドホン等)の電源を入れ、本機に近付けてペアリングさせます。ペアリングすると液晶ディスプレイに接続先の「デバイス名」が表示され【図.A1】、音声が流れ出します。

【図.A1】



※ペアリング中のデバイス名に英数字以外の文字が含まれている場合、「Paired」と表示されます。

【図.A2】



【図.A2】

※ペアリングさせる際、間に他のBluetooth機器があると、他の機器とペアリングする可能性があります。その際は、つなげたいデバイス名を選択してペアリングしてください。

(4)ペアリングされているデバイスを変更

ペアリング候補に上がっているデバイスを選択し直したい時は、本機操作ボタン「>」もしくは「<」を長押しすると「Choice」と表記されるので「>」もしくは「<」でペアリングしたいデバイス名を選択してください。【右図】選択肢に表示されない場合は、「M」を2回押しして、デバイスを再検索してください。

※マルチペアリング不可

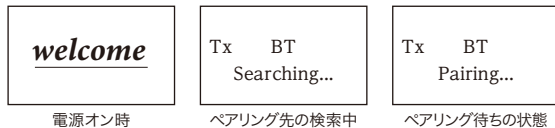
1台のBluetooth送受信機に対してペアリングできる機器は1台までです。

テレビ音声の送信について ～受信機・テレビ両方から音声を出す方法～

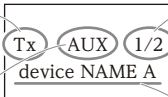
テレビの音声を本機から送信する際、テレビ本体と受信機(ヘッドホン、スピーカーなど)両方から音声を出力したい場合は、テレビ側の設定で変更してください。変更方法は使用しているテレビによって異なりますので、テレビ側の取扱説明書をお読みください。

使用方法②送信 ～液晶ディスプレイ～

液晶ディスプレイ 送信(TX)時の表示内容の説明



～画面上左～
【Tx】送信



～画面上右～
【●/■】どちらも数字
■ペアリング候補数
●ペアリング選択中の数字

～画面上中～
①ペアリング先の検索中
【BT】Bluetooth

②ペアリング中
送信する音源元が表示されます。
【AUX】オーディオケーブル
【TF】TF(MicroSD)カード
【PC】パソコン

③ペアリング先の選択時
【Choice】
ペアリング候補から選択できる状態。

～画面下～
①ペアリング前
【Searching...】ペアリング先の検索中。
【Pairing...】ペアリング待ちの状態。

②ペアリング中
【デバイス名】
ペアリング先のデバイス名の表示。
【Paired】
ペアリング先のデバイス名に英数字以外の文字が含まれている場合の表示。

使用方法②送信 ～テレビ以外の音を送信～

テレビ以外の機器とのペアリングの仕方 送信

本機を使用してBluetooth非対応の音楽プレーヤー等の音を、Bluetooth対応のスピーカーやヘッドホンに飛ばすことができます。

■Bluetooth非対応の機器(送信側)

■Bluetooth対応の機器(受信側)



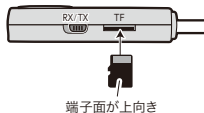
まず、本機の切替スイッチを「TX」に合わせ、Bluetooth対応のスピーカー(ヘッドホン等)の電源を入れてペアリングモードにします。

■オーディオモード【AUX】

付属のオーディオケーブルを、本機とBluetooth非対応の音楽プレーヤー等のヘッドホンジャックに差し込み、本機のキャップを外して電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を入れます。機器同士を近づけて、しばらくすると自動でペアリングされます。ペアリングが完了すると液晶ディスプレイの上の真ん中の表示が【AUX】になります。

■TF(microSD)カードモード【TF】

本機にmicroSDカードをTF(microSD)カードポートに差し込みます。microSDカードの向きに注意してください。端子面が上向きです。【右図】本機のキャップを外して電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を取ります。機器同士を近づけて、しばらくすると自動でペアリングされます。ペアリングが完了すると液晶ディスプレイの上の真ん中の表示が【TF】になります。



■パソコンモード【PC】

本機をお手持ちのパソコンのUSBポートに差し込むことによって、パソコンの音声を送信することができます。通電した状態のパソコンのUSBポートに本機を差し込んで電源を取ります。機器同士を近づけて、しばらくすると自動でペアリングされます。ペアリングが完了すると液晶ディスプレイの上の真ん中の表示が【PC】になります。

※自動でペアリングされない場合は、「M」ボタンを2回押ししてペアリング先を再検索の状態にして、しばらくお待ちください。

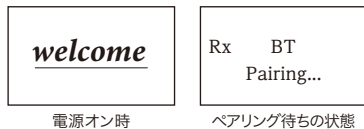
※ペアリングさせる際、間に他のBluetooth機器があると、他の機器とペアリングする可能性があります。その際は、つなげたいデバイス名を選択してペアリングしてください。

詳細はP.7の(4)ペアリングされているデバイスを変更を参照。

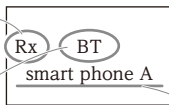
※接続先のパソコンによってはPCモードにならないものもございます。

使用方法③ 受信 ～ 液晶ディスプレイ ～

液晶ディスプレイ 受信(RX)時の表示内容の説明



～ 画面上左 ～
【 Rx 】受信



～ 画面上中 ～

流れる音源元が表示されます。

- ①ペアリング前・ペアリング中
【 BT 】Bluetooth
(スマートフォンなど)
- ②TF(microSD)カード挿入中
【 TF 】TF(MicroSD)カード
- ③パソコンのUSBポート接続中
【 PC 】パソコン

～ 画面下 ～

- ①ペアリング前
【 Pairing... 】ペアリング待ちの状態
※【TF】【PC】モード時も、スマートフォンなどとペアリングされていない状態であれば表示されます。
- ②ペアリング中
【 デバイス名 】
ペアリング先のデバイス名の表示。
【 Paired 】
ペアリング先のデバイス名に英数字以外の文字が含まれている場合の表示。
※【TF】【PC】モード時も、スマートフォンなどペアリングされている状態であれば【デバイス名】もしくは【Paired】が表示されます。
- ③【TF】時
【 0000/0000 】
再生中の曲番/全曲数が表示。
【 曲名 】
上記の表示後、再生中の曲名が表示されます。

使用方法③ 受信 ～ Bluetooth対応機器の音を受信 ～

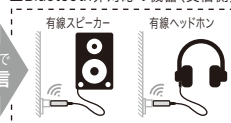
ペアリングの仕方 受信

本機を使用してBluetooth非対応のスピーカーやヘッドホン等に、Bluetooth対応機器の音を受け取らせることができます。

■Bluetooth対応の機器(送信側)



■Bluetooth非対応の機器(受信側)



(1)オーディオケーブルを接続

本機の切替スイッチを「RX」に合わせ、付属のオーディオケーブルを本機とBluetooth非対応のスピーカー(ヘッドホン等)のヘッドホンジャックに差し込み、本機のキャップを外して電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を入れます。

(2)デバイス名「LITHON TR-10」を選択して登録

ペアリングしたい機器から本機を検索します。
検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などをお読みください。
ペアリングしたい機器から本機が見つかったら、デバイス名「LITHON TR-10」が検索画面上に表示されるので、選択して登録します。
ペアリングが完了すると、液晶ディスプレイの下の表示がペアリングした機器の【デバイス名】もしくは【Paired】になります。

デバイス検索について

本機を「RX(受信)」で使用し、「M」ボタンを2回押してもデバイス検索はできません。他のBluetoothデバイスと接続する場合、接続中のBluetoothデバイス側で接続を解除してからおこなってください。

使用方法③ 受信 ～ 通話～

通話について

本機を「RX(受信)」で使用してスマートフォンとペアリングさせると、ハンズフリーで通話することができます。

<着信の場合> 着信があった場合、着信音が流れます。「M」ボタンを一度押すと電話にすることができます。もう一度押すと通話を切ります。また着信中に1～2秒長押しすると通話を拒否することができます。

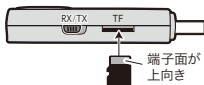
<発信の場合> 本機の「M」ボタンを2回連続して押すと、直前に着信もしくは発信した相手に電話をかけることができます。

- 通話機能が使えるのはBluetooth接続時に限ります。
- 通話をする際、双方ともBluetooth機器で通話をするると雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。
- ご使用の機器によっては、本機の操作での発信・着信した電話に出ることができない場合があります。その場合は、ペアリングした機器を操作してください。また、アプリを利用しての通話はできない場合があります。

使用方法④ その他 ～ Bluetoothを使用しない接続方法～

TF(microSD)カードモード【TF】

本機にmicroSDカードをTF(microSD)カードポートに差し込みます。microSDカードの向きに注意してください。端子面が上向きです。【右図】本機のキャップを外して切替スイッチを「RX」に合わせ、電源のとれるUSBポートに差し込んで電源を取ります。付属のオーディオケーブルで接続したスピーカーやヘッドホン等から音を流すことができます。音楽の再生など、操作方はP.4【操作ボタン表】を参照。



故障かな?と思ったら

- 映像の音声が遅れて聞こえる
 - ・Bluetoothの特性上、映像に対して音声が多少遅れて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 音量が小さい
 - ・接続機器側の音量を確認してください。使用環境によっては音量が小さく出力される場合がございます。
- 本機の電源が入らない
 - ・本機がしっかりと電源を供給できるUSBポートに差し込まれているかどうか、確認してください。
- ペアリングができない
 - ・接続先のBluetooth機能がペアリング可能な状態であることを確認してください。一般にスマートフォンやパソコンなど接続する側の設定で、機能を有効にする必要があります。接続する機器の設定を確認してください。
 - ・別の機器とペアリングされている可能性があります。接続を解除してからお試しください。
 - ・約2分30秒経ってもペアリングができない場合は、Bluetooth送信機を電源から抜き、送信先のスピーカー(ヘッドホン等)の電源を切って、もう一度ペアリングし直してください。
- 接続後に本機がきちんと動作しない
 - ・本機および接続したスマートフォンやパソコン等の機器が、該当するBluetooth機能を搭載しているか確認してください。(Bluetoothのバージョンや対応しているプロファイルなど)
- いつも再接続していたのに突然再接続されなくなった
 - ・スマートフォンやパソコン等の接続する機器によっては繰り返し再接続している間に、登録情報が失われ、自動で再接続できなくなることがあります。本機および接続機器の電源を入れ直さず、再度ペアリングをおこなってください。
- ノイズやエコー音が入る
 - ・ペアリングの機器との距離を変えてみてください。
 - ・音源元と同じ機器のUSBポートから電源を取っている場合、他に電源の取れるUSBポートから電源を取ってください。
- スマートフォン等で動画音声が聴こえない
 - ・スマートフォン等の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオなどの音声はBluetoothでは視聴できません。また、デジタル著作権保護のため、本機では再生できない場合があります。
- BluetoothキーボードやBluetoothマウスなど、他のBluetooth機器を使用すると本機からの音声が途切れる
 - ・Bluetooth機器の混信、ノイズにより稀に音声が途切れる場合があります。
- 片側からしか音が出ない
 - ・オーディオケーブルが根元まで差さっているか確認してください。
- 本機はステレオです
 - ・モノラルタイプの場合は片方からしか音が出ない場合があります。

テクニカルデータ

Bluetooth	
バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.5.1、class2
検索デバイス名	LITHON TR-10
伝送距離	最大約10m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
使用周波数帯域	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）
対応プロファイル	送信時(TX):A2DP 受信時(RX):A2DP、AVRCP、HFP
同時接続台数	1台
その他	
電源	USB電源
接続	3.5mmイヤホンジャック入出力
外形寸法	約 W82 × D13.5 × H29.5 mm
質量	約20g
付属	オーディオケーブル φ3.5mm

※通信距離は、間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって、通信距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

※全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。ご使用の機器によっては接続できない場合があります。予めご了承ください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。